

-----8月31日-----

2015年

※ 今週のアウトルック (8/31~9/4)

先週は、月曜日から激しい動きとなる週となりました。

週明け早々、中国株の急落をきっかけに、為替もドル売りが急激に進み、一時ドル円は116円付近まで下落しました。

その後、徐々に持ち直して、ドル円は週末には月曜日の始値近くまで戻しています。

今週は、米ドルの買い戻しは進んでいますが、クロス円はまだ円高気味で、リスクオフムードはしばらく続きそうな気配です。

中国株が再び急落するようなことがあれば、一気にリスクオフ加速という展開も考えておく必要があるように思います。

先週ドル円は、週初めに116円付近まで一時的に下落したものの、週末までには徐々に戻して、121円台後半で終了しています。

今週は、米国の9月利上げ観測再燃による買い戻しがどのあたりまで進むかを、まず見極める必要があります。

また、中国株の急落などの懸念も消えていないため、ドル買い戻しが一方的に進むとは、あまり考えない方が良くかもしれません。

ドル円の予想レンジは120円から124円です。

先週ユーロは、週初めこそ、ドル売りユーロ買いが進んで、ユーロドルは1.17付近まで、上昇しましたが、その後ドルの買い戻しが進み、週末には1.12付近で終了しています。

今週はドルの買い戻しがどこまで進むかに大きく左右されそうですが、中国株急落によるリスクオフもまだ安心はできないため、ドル買いから一転してドル売りに変わる可能性も、考慮する必要があります。

ユーロ円の予想レンジは134円から137.5円です。

ポンド円は、月曜日に183円付近まで大きく下落しました。

今週は、米ドルの買い戻し具合から今後を模索するような状況となりそうですが、状況次第では、再び185円以下への下落も想定しておく必要があります。

ポンド円の予想レンジは181円から190円です。

今週は、米国の9月利上げ観測再燃によるドル買い戻しと、中国株の沈静化状況を
まず見極める必要があるようですが、中国株や原油の動きに神経質な展開となる
可能性も幾分高いように思います。

*** 免責事項 ***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。